



横浜市立万騎が原中学校 学校だより

# 桐の花

令和2年

2月17日

校長 中村 雅一

横浜市旭区万騎が原 31 TEL 045-391-5514 FAX 045-391-5537

URL <http://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/jhs/makigahara/index.cfm>

「地図のない世界へ」

校長 中村 雅一

昨年12月、中国・武漢で集団発生した新型コロナウイルス肺炎(COVID19)は、今年2月に入っても世界的規模で感染者が増えています。世界各国が水際対策に苦心しており、日本でも中国・武漢から政府チャーター機で帰国した人たちの再検査や、横浜港のクルーズ船での検疫・集団感染の状況が連日のように報道されています。

WHO(世界保健機関)は2月4日、「世界的大流行を意味するパンデミックではない」と言っていました。その後、イギリスやフランスでは中国に渡航歴のない人から感染が広がっていると指摘し、警戒感を示しました。日本においても、これまでは日本国内での肺炎患者でコロナウイルスの検査が「陽性」であっても、「中国との関連があり、感染ルートのわかる症例」でした(横浜港のクルーズ船は除いて)。ですが、今日、13日、厚労省の発表で東京のタクシー運転手など4人の日本の陽性患者は、「中国との関連がなかったり、感染ルートが追えない可能性の症例」として報告されました。現在、懸命の水際対策が取られてはいますが、この4つの症例を市中感染と見れば、日本も流行地となっていく可能性があります。武漢市からの航空便や鉄道が停止された1月23日以前に日本を訪れた人をはじめ、症状が軽かったり無症状の陽性感染者から、すでにウイルスが国内で広がっているのか、国や自治体が発表する情報を注視しなければいけない状況です。そして、状況は日々変わっていき予断を許さない状態です。今は「最新で確かな正しい情報」に従って行動することが大事だと考えます。ただ不安がるのではなく、その不安や疑問に対する答えを追及していくことも必要だと思います。当然ですが、医療機関の確保や、検査・治療・予防の開発も急がれるところです。

さて、この感染拡大にともなって、今、世界で不当な差別的言動が現れていることも見過ごすことができません。例えば、フランスではアジア人が街角や学校で差別を受けているとして、ツイッターなどを通じて「私はウイルスではない」などと訴える抗議が広がっています。イタリア、ローマにある国立音楽院では、医師の診察を受けるまでは「すべてのアジア人へのレッスン中止」を発表し、批判されています。一方、日本でも札幌市のあるラーメン店が「中国人入店禁止」の貼り紙を掲示したり、箱根の駄菓子屋でも「中国人お断り」との貼り紙がされました(現在、貼り紙ははずされています)。

欧州でも日本でも、滞在する多くの中国人やアジア人は新型コロナウイルスに感染していないものの、ウイルスに感染している可能性が高い人と見て、このような差別的な扱いを受けています。

あるジャーナリストの話ですが、「中国国内では武漢出身者が差別され」「日本国内では中国人が差別され」「欧米ではアジア人が差別されている」とのことです。つまり、地域によって差別される対象の人々はどんどん広がっています。

そして、歴史をさかのぼれば、1923年(大正12年)9月1日、関東大震災が起きた際「朝鮮人が井戸に毒を入れた」などとデマが飛び交い、これを真に受けた住民たちが自警団を結成し、多くの朝鮮や中国の人などを殺害した出来事があります。また、かつて、ハンセン病が不治の、恐ろしい伝染病とみなされ、国が法律で患者を強制的に隔離する誤った政策により、長い間、差別と偏見を受けてきた歴史もあります。感染症や大災害など非常時の混乱は、日常、人々が潜在的に持っている差別意識を顕在化させると言われます。コロナウイルスという「大義名分」をかざして、中国の人を差別したり偏見を持つことがないよう歴史から学ばなければいけません。また、不安や恐れ、無知が差別につながってしまうことがあります。自分が感じている不安やストレスの原因が中国の人ではなく、ウイルスへの恐怖感であるということを知る必要があります。今後は、中国に滞在する多くの日本人が帰国することになると思います。政府も早期帰国の呼びかけを強化しています。帰国する家族の小中学生は当然に日本の公立学校に通うこととなります。そうした家族、子どもたちへのコロナウイルスを理由とした差別やいじめ、偏見は決してあってはならないことです。許されません。コロナウイルスの流行が終わることは誰もが願うところですが、万騎中生の皆さんには、ぜひ正しい知識に基づいて冷静に行動し、心ない言葉や態度がとられることのないように、また、思いやりの心を大切にしてほしいと思っています。

終わりに、最近読んだ坪井広行氏の「What is learning? 学びとは何か」の一説をご紹介します。

「私はいつも迷子でした、迷子だから問いを立てるのです。損か得かを気にすることは、安全を求めることであり、得て迷いのない道は、創造性を失う道を進むこととなります。しかし、知は迷いであり、不知は無知なのです。周りにどう思われるかを気にすることは自分が信じていることを失っていくことでもあるのです。学びの物語は、私たちの人生におき忘れてきた小さな疑問を、そんな疑問を問うことから始まるのです。・・・未来の予測できない変化に葛藤し、欠点を知り、迷うことは、私たち人類の課題です。それを解くためには、変化に対応するのではなく、私たちが抱く常識という未来の扉にかかる鍵をなんとか開き、まず一步を踏み出すことです。・・・未来に常識はなく、常識とは常に過去のもののなのです。」

地図のない広い世界で羽ばたくために、「問い」を立て、「問い」というコンパスを手に入れてください。3年生の皆さん、まだ少し早いですが、卒業おめでとうございます。(令和2年2月13日)

# 学校教育活動に関するアンケート =まとめ=

12月に実施しました学校教育活動に関するアンケートにご協力いただきありがとうございます。回答率は、約55%でした。このアンケートは、学校評価の一助として実施し、現状の教育活動の成果を振り返ることで今後の改善点等を検討するための資料として生かしていきます。今回は、アンケートから見える課題やアンケートの中で「わからない」と回答が多かった項目等について、お知らせいたします。改善点や今後の取組みは、次年度以降の教育課程説明会等を利用し、保護者の皆さまにも説明いたします。

令和元年度学校教育活動に関するアンケート保護者結果				1年=190	2年=142	3年=154	アンケートから見える課題等
No.	質問項目	そう思う	大体 そう思う	あまり そう 思わない	思わない	わから ない	
[1]	生徒は、自らの生き方を創り、たくましく行動することができている。	20%	59%	15%	2%	5%	このアンケート項目は、教育目標にそって作成しています。表現が抽象的なところもありますが、ご理解いただきご回答いただけたと判断いたしました。教育活動は、教育目標を基に様々な取組み運営しています。その状況がどの程度達成されているか客観的な評価として捉えました。
[2]	生徒は、安全で楽しく、充実した学校生活を送っている。	35%	59%	4%	1%	1%	全体的には、本校の教育活動を理解していただいている状況と判断しています。しかしながら、不十分な説明等もあり今後も、様々な機会を通してご理解いただけるよう努めてまいります。
[3]	生徒は、自ら学び、自ら考える学習ができている。	20%	52%	21%	4%	3%	また、ご意見の中では、「評価する対象者」の質問がありました。また、子どもの姿を通して評価していただければと考えています。教職員についても接している教職員の様子を評価していただければと考えています。
[4]	生徒は、学習に対して前向きに取り組んでいる。	26%	53%	16%	4%	2%	【No.2】の「そう思う、大体そう思う」が94%の回答があり、基本的な生活習慣の定着は、教育活動の中で図られている。しかし、【No.1】の「あまり思わない」の回答が、15%とやや高いことから、さらに教育活動の様々な場面で、個性や創造性の伸長を教育活動の中で図りながら自ら進んで行動できるよう努めていきます。
[5]	学校は、教育課程説明会等で評価規準、評価方法について十分に説明している。	25%	58%	9%	2%	5%	【No.3】の「あまりそう思わない、思わない」の回答が21%と高く、学年別に見ても変わらない。今後の課題としては、日々の学びの姿が「じっくり考え 高めあい 次につなげる確かな学び」を大切にしていきます。
[6]	本校の教員は、生徒一人ひとりの実態を把握し、学習指導している。	16%	55%	16%	3%	10%	【No.4】の「そう思う」を学年別に見ると3年生の回答は32%と他学年より8ポイント高くなっている。3年生は部活動等が終わり学習に集中している様子があるが、個人差も現れています。
[7]	本校では、人権に配慮した教育が行われている。	19%	59%	6%	2%	14%	【No.5】は、教育課程の説明会を実施し理解いただけていると考えていますが、今後も説明責任を果たせるよう説明会の内容の工夫等に努めていきます。
[8]	生徒は、豊かな心で互いに高め合い、学校生活を送っている。	22%	61%	9%	1%	7%	【No.6】は、教員の課題としてとらえ、生徒一人ひとりの学習状況をしっかりと伝える工夫をしていきます。
[9]	本校では、生徒の健康や安全への配慮が十分にできている。	26%	61%	6%	1%	6%	【No.7】は、「わからない」の回答が14%と高く、日常的な教育活動の中で人権に配慮した「発言」や「指導」を継続し、ご理解をいただけるよう努めていきます。
[10]	生徒は、社会の一員として、自らできることを考え、実践しようとしている。	16%	53%	21%	2%	8%	【No.8】【No.9】は、「そう思う、大体そう思う」の回答が80%以上であり、生徒同士の関係が良好な状況ではあり、おおむね安心して学校に通っているが、日常生活の中では様々なことがあり、小さなことでも見逃さないよう努める必要がある。また、家庭との連携に日頃より意識します。
[11]	キャリア教育(職業講話、職場体験、進路指導)等、様々な人とコミュニケーションを深め、社会への視野を広げようとする活動をしている。	24%	57%	10%	1%	8%	【No.10】は、「あまりそう思わない、思わない」の回答が21%であった。成長過程の中で、生徒が自ら考え実践できるような教育活動の工夫し、【No.11】のキャリア教育の実践を重視する必要がある。
[12]	本校の体育祭や文化祭などの学校行事は、生徒の意欲的な活動になっている。	46%	48%	4%	0%	2%	【No.12】【No.13】は、本校の特色ともいえる活動であり、保護者のご理解も得られている。部活動では、指導者の資質向上とともに現状の活動の必要性や方針などを保護者に理解していただけるよう十分な説明をしていきます。
[13]	本校の生徒会活動や部活動は、生徒の自主活動として充実している。	34%	53%	6%	1%	6%	【No.14】【No.15】は、「わからない」の回答が多く、課題として、保護者への指導状況などの情報交換や、家庭と学校の連携を深めることが大切である。生徒一人ひとりの課題を家庭と学校とで共有し、生徒の成長を見守っていきます。
[14]	本校の教員は、生徒一人ひとりの実態を把握し、個に応じた指導をしている。	19%	51%	15%	2%	12%	【No.16】【No.17】は、「そう思う、大体そう思う」の回答が高く、保護者が来校した時の印象などが高く評価されています。
[15]	本校の教員は、共通理解された方針で指導している。	17%	51%	11%	3%	18%	【No.18】保護者面談の機会など十分と考えていい結果であるが、個々への対応は、常に行うことが大切であると認識しています。
[16]	本校の教育環境(施設・設備面)の整備され、有効に活用されている。	19%	63%	9%	2%	8%	【No.19】は、PTA活動も円滑に行われており、さらに学校の支援をお願いできればと考えています。
[17]	本校の環境整備(清掃活動・花壇の整備)がなされている。	29%	62%	3%	0%	5%	【No.20】は学校と保護者の信頼関係がしっかりしている一面であり、適切な処理をしています。
[18]	保護者(面談)や地域の人たちと(地区懇談会)話をする機会を適切に設けている。	31%	58%	3%	1%	6%	【No.21】は、学校だよりや学級だよりにより学校の様子を知ろうとする保護者が多い。個人意見では、学級だよりを楽しみにしている等があり、様子がわかることで信頼関係をきずく一助になっているのでさらなる充実を図ります。
[19]	PTA活動は、教育活動を支援し、積極的に活動している。	26%	59%	5%	1%	9%	【No.22】HPIについては、開示するべき事項をすみやかに開示するなど課題もありますが、部活動等の結果の掲載等は個人情報の観点からどうなのか検討しています。
[20]	徴収金や部費等の各種会計が適切に行われている。	35%	55%	2%	1%	7%	【No.23】は、情報教育も含め、継続的な対応をしていかなければなりません。また、学校としてできる安全対策を見直し実践していきます。
[21]	学校・学級だより等により、学校の様子は保護者に伝えている。	39%	52%	5%	1%	2%	
[22]	学校だよりや学校HP(ホームページ)で、情報が十分に公開されている。	21%	58%	10%	1%	9%	
[23]	学校では、災害や不審者対応など、安全面に配慮がなされている。	21%	57%	9%	1%	12%	





# 2月・3月の予定をお知らせします

※予定ですので、変更になる場合もあります。

2 月			3 月		
1	土		1	日	
2	日		2	月	
3	月		3	火	
4	火		4	水	
5	水		5	木	
6	木	1年 百人一首大会	6	金	3年生を送る会
7	金	2年 百人一首大会	7	土	
8	土		8	日	
9	日		9	月	
10	月		10	火	
11	火	建国記念の日	11	水	第59回卒業証書授与式
12	水	1・2年 期末テスト	12	木	2年球技大会
13	木		13	金	1年球技大会
14	金	公立高校共通選抜試験	14	土	
15	土		15	日	
16	日		16	月	
17	月	公立高校共通選抜試験	17	火	1年教科書配付
18	火	公立高校共通選抜試験	18	水	2年教科書配付
19	水		19	木	
20	木	1・2年 市学力・学習状況調査	20	金	春分の日
21	金		21	土	
22	土		22	日	
23	日	天皇誕生日	23	月	
24	月	振替休日	24	火	大掃除
25	火		25	水	修了式
26	水		26	木	学年末休業
27	木		27	金	
28	金	公立高校共通選抜 発表	28	土	
29	土		29	日	
			30	月	
			31	火	

《4月の主な予定》

- 6日(月)着任式 始業式 入学式
- 7日(火)離任式 対面式
- 8日(水)身体計測
- 9日(木)学級写真撮影

- 16日(木)全国学力・学習状況調査(3年)
- 17日(金)授業参観(5校時)  
保護者懇談会 部活動保護者会
- 30日(木)教育活動説明会  
1年自然教室説明会